

令和元年度 第2回練馬区立美術館運営協議会次第

日時：令和2年3月27日（金）午後2時
場所：サンライフ練馬 研修室

（審議事項）

- 1 令和2年度事業計画（案）
 - （1）収支予算
 - （2）展覧会事業
 - （3）教育普及事業

（報告事項）

- 2 令和元年度事業報告（中間報告）
 - （1）展覧会事業
 - （2）美術作品の収集事業（再掲）
 - （3）広報活動と反響
- 3 練馬区立美術館再整備基本構想策定検討委員会提言について報告
- 4 その他

令和元年度

第2回 練馬区立美術館運営協議会

練馬区立美術館

(令和2年3月27日)

令和元年度第2回練馬区立美術館運営協議会資料 目次

練馬区立美術館運営協議会委員名簿	1
練馬区立美術館運営協議会条例	3
1 令和2年度 事業計画（案）	
(1) 収支予算	5
(2) 展覧会事業	6
① 「ショパン—200年の肖像」	7
② Re construction 再構築（仮称）	8
③ 式場隆三郎 脳室反射鏡	9
④ 35年の35点 コレクションで振り返る練馬区立美術館	10
⑤ 「電線絵画」（仮称）	11
(3) 教育普及事業	12
2 令和元年度事業報告（中間報告）	
(1) 展覧会事業	14
(2) 美術作品の収集事業（再掲）	16
(3) 広報活動と反響	17

第 17 期 練馬区立美術館運営協議会委員名簿

	氏 名	役 職
学識経験者	タカハシ コウジ 高橋 幸次	国際ファッション専門職大学教授 元日本大学芸術学部 教授
	アオキ シゲル 青木 茂	明治美術学会顧問
	イズイ ヒデカズ 伊豆井 秀一	元埼玉県立近代美術館 主席学芸主幹
	サトウ ヤスヒロ 佐藤 康宏	東京大学教授
	シマダ ノリオ 島田 紀夫	実践女子大学名誉教授
	ナイトウ マサト 内藤 正人	慶応義塾大学教授
	マブチ アキコ 馬渕 明子	国立西洋美術館館長
練馬区議会 議員	シバタ さちこ	区議会議員
	トミタ けんじ	区議会議員
	イワセ たけし	区議会議員
	きみがき ケイコ きみがき 圭子	区議会議員
公募区民	スドウ アサヨ 須藤 麻世	公募区民
	サイトウ ノリコ 齋藤 宜子	公募区民
	ワタナベ ヒトミ 渡邊 瞳	公募区民
美術団体 関係者	ヨシダ ミゾウ 吉田 巳蔵	練馬・文化の会代表
	シマダ コウイチロウ 島田 紘一呂	練馬区美術家協会会長
学校教育 関係者	エガワ サトシ 江川 誠志	区立中学校校長
	タカハシ フミキ 高橋 史樹	区立小学校主任教諭

練馬区立美術館運営協議会条例

昭和60年10月8日

条例第45号

(設置)

第1条 練馬区立美術館（以下「美術館」という。）の運営方針および事業計画を協議するため、練馬区立美術館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 協議会は、区長の諮問に応じてつぎに掲げる事項について審議し、答申する。

- (1) 美術館の運営方針に関すること。
- (2) 美術館の事業計画に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事項

2 協議会は、前項各号に掲げる事項について、区長に意見を述べることができる。

(定数)

第3条 協議会は、委員19人以内をもって組織する。

(委員)

第4条 委員は、つぎの各号に定めるところにより、区長が委嘱する。

- (1) 学識経験者 8人以内
- (2) 練馬区議会議員 4人以内
- (3) 区民 3人以内
- (4) 美術団体関係者 2人以内
- (5) 学校教育関係者 2人以内

2 前項第3号に規定する区民は、公募により選任するものとする。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合における補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長および副会長)

第6条 協議会に会長および副会長を各1人置く。

- 2 会長および副会長は、委員が互選する。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 協議会は、会長が招集する。

- 2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 会議の議長は、会長が務める。
- 4 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 5 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くこ

とができる。

(部会)

第8条 協議会は、第2条第1項に規定する事項について調査検討を行うため、部会を置くことができる。

2 部会は、会長の指名する委員をもって組織する。

3 部会は、協議会の求めがあったときは、必要な事項を報告しなければならない。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、地域文化部において処理する。

(委任)

第10条 この条例の施行について必要な事項は、練馬区規則で定める。

付 則

この条例は、公布の日から施行する。

付 則 (平成23年12月条例第53号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

付 則 (平成26年12月条例第49号)

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

1 令和2年度事業計画(案)

(1) 指定管理者収支予算

(単位：千円)

経費種別	支出			収入			
	施設管理費	事業費	人件費	指定管理業務費	利用料金・物販等	その他	
人件費	65,030	0	65,030	65,030	0	0	
美術館維持経費	74,951	0	0	56,622	1,205	17,124	
展覧会事業費	108,316	108,316	0	59,289	46,877	2,150	
教育普及事業費	3,303	3,303	0	2,953	350	0	
練馬区立美術館維持運営費計	251,600	111,619	65,030	183,894	48,432	19,274	

(2) 区直接執行予算(美術館維持運営費)

項目	支出額
美術館運営協議会委員報酬	447
再整備基本構想策定検討委員等謝礼	348
再整備基本構想策定支援業務委託料	8,950
消耗品費	10
区執行額計	9,755

【参考】区直接執行予算(美術の森緑地維持管理費)

項目	支出額
光熱水費	174
修繕料	402
消耗品費	31
樹木せん定料	1,000
維持管理等委託料	3,344
維持補修費	278
区執行額計	5,229

(2) 展覧会事業

令和2年度 展覧会事業日程(案)

3階展示室			2階展示室		
会期	展覧会名	担当	会期	展覧会名	担当
4月26日 6月28日 <55日間>	【有料】 日本・ポーランド国交樹立100周年記念 「シヨパンー 200年の肖像」				小野
7月10日 7月19日 <9日間>	【無料】□ 第66回練馬区美術家協会展		7月8日 8月2日 <23日間>	【無料】 練馬区立美術館開館35周年 記念展(プレ展示) 「Re construction 再構築」 (仮称)	眞子
8月9日 9月27日 <43日間>	【有料】 練馬区立美術館開館35周年記念展 「Re construction 再構築」(仮称)				眞子
10月11日 12月6日 <49日間>	【有料】 「式場隆三郎 脳室反射鏡」				喜多
12月12日 12月27日 <14日間>	(一般貸出)				眞子
1月16日 1月21日 <5日間>	小学校連合同工展		12月12日 	【無料】 練馬区立美術館開館35周年 記念展 「35年の35点 コレクション で振り返る練馬区立美術 館」(仮称)	
1月23日 1月27日 <4日間>	中学校生徒作品展		2月14日		
1月30日 1月31日 <2日間>	小中学校連合書きぞめ展		<50日間>		
2月6日 2月14日 <8日間>	【無料】 第52回練馬区民美術展				
2月28日 4月18日 <43日間>	【有料】 「電線絵画」(仮称)				加藤

日本・ポーランド国交樹立 100 周年記念「ショパン—200 年の肖像」 開催要項

- 1 開催趣旨

2019 年にポーランドと日本は、国交 100 周年を迎えました。これを記念して、ポーランドが誇る世界的ピアニストで作曲家のフレデリク・ショパン (1810～1849) の展覧会を開催します。

「ピアノの詩人」と称されるショパンの楽曲は、母国ポーランドや彼の才能が存分に開花したフランスは然ることながら、世界中で愛されています。ただ、ショパンについては幼い頃から身体が弱く、作家ジョルジュ・サンドとの別れによる傷心のうちに若くして亡くなったという画一的なイメージが流布しています。そこで本展では、ショパンの息吹を感じられる自筆譜や手紙、遺品をはじめ、様々な美術作品や資料に基づき、ショパンという芸術家の人間像と彼の創造した音楽を見つめ直します。とりわけ、現代のアーティストたちがショパンからインスピレーションを得て制作した数々の造形作品を一同に展覧し、多角的なショパン像を発見しようという試みは新しいアプローチと言えるでしょう。

本展では、現在、ショパンの遺品・権利などを一括して保有・管理、研究をしているポーランド・ワルシャワの国立フリデリク・ショパン研究所所蔵の自筆譜や美術作品を中心に、ワルシャワ国立博物館所蔵やドルドレヒト美術館 (オランダ)、国内美術館の油彩画など約 250 点を展示します。
- 2 会 期 令和 2 年 4 月 26 日 (日)～6 月 28 日 (日)
- 3 主 催 練馬区立美術館 (公益財団法人練馬区文化振興協会)
- 4 共 催 国立フリデリク・ショパン研究所
- 5 後 援 駐日ポーランド共和国大使館、日本ショパン協会
- 6 特別協力 ポーランド広報文化センター、ワルシャワ国立博物館、ドルドレヒト美術館
- 7 協 力 LOT ポーランド航空、KLM オランダ航空、大阪音楽大学、講談社、株式会社河合楽器製作所、株式会社ヤマハミュージックジャパン
- 8 企画協力 神戸新聞社、ROBINS
- 9 内 容 自筆譜、書簡、油彩画、版画、ポスター、彫刻など 約250点
- 10 図 録 出版社 (求龍堂) より制作予定
- 11 観 覧 料 1,000円
- 12 イベント 講演会、コンサートはじめ、学芸員によるギャラリートーク、ワークショップ等を開催
- 13 観覧者見込 30,240人 (550人/日)
- 14 担 当 学芸員 小野寛子

※兵庫県立美術館ギャラリー棟 (令和元年 10 月 12 日～11 月 24 日)、久留米市立美術館 (令和 2 年 2 月 1 日～3 月 22 日)、静岡市立美術館 (令和 2 年 8 月 1 日～9 月 22 日) を巡回

練馬区立美術館開館 35 周年記念展

Re construction 再構築（仮称）開催要項

- 1 開催趣旨 練馬区立美術館開館 35 周年を記念する展覧会第 1 弾。
現代の作家とともに当館の所蔵作品を再解釈し、新たな視点を提案する展覧会を開催します。
参加作家は、流麻二果、近藤聡乃、富井大裕、大小島真木の 4 名。各作家へ当館所蔵作品を再構築した作品制作を依頼。目に見えるモチーフに関して所蔵品から紹介する章に始まり、画材の選択や個々人の視覚・色覚に左右される「色」のセクションを流、視覚から誘発される「触覚」を近藤、展示室という「空間」について富井、そしてそれらを受け取る「身体」を大小島が担当し、これらを辿りながら美術館における鑑賞全体の再構築へとつなげていきます。
各作家が基点とする所蔵品は、松岡映丘《さつきまつ浜村》、鶴岡政男《物乞う人（辻楽師）》、荒木秀敏《桜花雙鳩・秋草群鶉図》など。35 年間の練馬区立美術館の蓄積を経て、36 年目の新しい扉を開きます。また美術館の核となる所蔵品と、鑑賞者との関係を、作家の目を通して問いかける試みともなります。
加えて、当館所蔵作家、大沢昌助の旧国立競技場壁画に関する資料を紹介するコーナーも設けます。
- 2 会 期 プレ展示：令和 2 年 7 月 8 日（水）～8 月 2 日（日）
本展示：令和 2 年 8 月 9 日（日）～9 月 27 日（日）
- 3 主 催 練馬区立美術館（公益財団法人 練馬区文化振興協会）
- 4 内 容 絵画、立体、インスタレーション等 約 40 点
- 5 図 録 制作する
- 6 観 覧 料 プレ展示：無料 本展示：800 円
- 7 イベント 出品作家によるワークショップ等を開催
- 8 観覧者見込み プレ展示：2,990 人（130 人／日） 本展示：8,600 人（200 人／日）
- 9 担 当 学芸員 真子 みほ

式場隆三郎 脳室反射鏡 開催要項

- 1 開催趣旨

式場隆三郎（1898～1965）は、現在の新潟県五泉市に生まれ、新潟医学専門学校（現・新潟大学医学部）に学んだ精神科医です。医業のかたわら民芸運動、ゴッホ論、心理学入門、性教育書に至る驚くべき健筆をふるい、生涯の著作は約200冊にも及びます。ゴッホ複製画展や山下清展などの事業も手がけ、幅広い大衆の関心と趣味を先導しました。式場の啓蒙的な活動は私たちの芸術観の形成（例えば「天才／狂気」「制作／宿命」「芸術／生活」といった観念連合）にあずかるものでした。

本展では、近現代日本の文化史に重要な文脈を与えた式場の多彩な足跡を約200点程度の作品・資料を通じてたどります。
- 2 会 期 令和2年10月11日（日）～12月6日（日）
- 3 主 催 練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）、読売新聞社、美術館連絡協議会
- 4 内 容 油彩画、陶磁器、資料など 約200点
- 5 図 録 制作
- 6 観 覧 料 1,000円
- 7 イベント 学芸員によるギャラリートーク、ワークショップ等を開催
- 8 観覧者見込 12,250人（250人／日）
- 9 担 当 学芸員 喜寿 孝臣

※広島市現代美術館（令和2年3月20日[予定]～5月17日）、新潟市美術館（令和2年8月8日～9月27日）を巡回

練馬区立美術館開館 35 周年記念展

35 年の 35 点 コレクションで振り返る練馬区立美術館 開催要項

- 1 開催趣旨 開館 35 周年を記念する展覧会第 2 弾。

練馬区立美術館では、開館以来様々な作品収集を行い、日本の近現代の作品を中心に、現在2600件余りのコレクションが形成されています。コレクションが形作られる経緯は美術館によって様々ですが、当館では、展覧会をきっかけとして作品収集がなされたり、収集をきっかけとして展覧会を開催したり、という例が多くみられます。

本展では、過去全ての展覧会をポスターなどで紹介し、同時に各年に開催された展覧会の中から1点ずつを選び、35年分の作品を展示します。1985年度の田崎廣助展から1989年のオノサトトシノブ展、1993年の木村莊八展、2000年の高山良策展、2007年の賛美小舎展、2013年の牧野邦夫展など、2020年度の電線絵画展まで、それぞれの年を象徴する1点をたどることで、練馬区立美術館の歴史を感じることが出来ます。

美術館の活動を知り、より当館のコレクションに親しんでいただくための企画となります。
- 2 会 期 令和 2 年12月12日(土)～令和 3 年 2 月14日(日)
- 3 主 催 練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）
- 4 内 容 絵画、版画、立体など 35点
- 5 図 録 制作しない（A3二つ折りリーフレットを無料配布）
- 6 観 覧 料 無料
- 7 イベント 学芸員によるギャラリートーク、ワークショップ等を開催
- 8 観覧者見込 8,000人(160人／日)
- 9 担 当 学芸員 真子 みほ

「電線絵画」(仮称) 開催要項

- 1 開催趣旨

東京都は2020年東京オリンピック・パラリンピックまでに競技場周辺を中心とした大規模な無電線化を進めていくという。オリパラ終了後の東京は私たちの望む、後世まで記憶される景色となっているのであろうか？

街に縦横無尽に走る電線は美的景観を損ねるものと忌み嫌われ、スッキリと見通しの良い、青空が広がる整然とした町並みに誰しもが憧れを抱くことは否めない。しかし、そうした雑然観は私たちにとっては幼い頃から慣れ親しんだ故郷や都市の飾らないそのままの風景であり、それはノスタルジーと共に刻み込まれている景観である。

本展では明治から現代に至るまでの電線、電柱が果たした役割と、作品化された意味を検証し読み解いていこうとするものである。晴れやかな近代化の象徴であった電信線、“東京”が拡大していく証しとしての電線、モダン都市のシンボルである架線等、私たちと都市の記憶としての電線、電柱を美術作品の中から追っていく。
- 2 会 期 令和3年2月28日(日)～4月18日(日)
- 3 主 催 練馬区立美術館(公益財団法人 練馬区文化振興協会)
- 4 内 容 油彩画、日本画、版画、立体など
- 5 図 録 制作予定
- 6 観 覧 料 1,000円
- 7 イベント ギャラリートーク、ワークショップ、鑑賞プログラム等開催予定
- 8 観覧者見込 15,050人(350人/日)
- 9 担 当 学芸員 加藤陽介

令和2年度 教育普及事業計画(案)

令和2年2月13日現在

館内事業

I) 展覧会関連 (各展覧会を楽しむ)

① 関連ワークショップ・講座

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	練馬区立美術館開館35周年記念展 Re construction 再構築	7～9月	2	未定	未定
2	式場隆三郎展	10～11月	未定	未定	未定
3	練馬区立美術館開館35周年記念展 35年の35点	12～1月	2	未定	未定
4	電線絵画展	3～4月	未定	未定	未定

② ギャラリートーク

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	ショパン — 200年の肖像展	5月13日(水)15:00～ 6月4日(木)15:00～	2	自由参加	—
2	練馬区立美術館35周年記念展 Re construction 再構築	7～9月	4	自由参加	—
3	式場隆三郎展	10～11月	未定	自由参加	—
4	練馬区立美術館35周年記念展 35年の35点	12～1月	2	自由参加	—
5	電線絵画展	3～4月	未定	自由参加	—

③ コンサート・ライブパフォーマンスなど

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	「ショパン — 200年の肖像」展 スペシャル・コンサート 01～「ショパンを讃えて」 出演:川口成彦(ピアノ)	4月26日(日)18:20～20:00	1	中学生以上	50名
2	「ショパン — 200年の肖像」展 スペシャル・コンサート 02～「ピアノの詩人ショパン～その39年の生涯」 出演:高橋多佳子(ピアノ)	5月17日(日)18:20～20:00	1	中学生以上	50名
3	練馬区立美術館35周年記念展 Re construction 再構築 公開制作	未定	1	自由参加	—
4	式場隆三郎展	未定	未定	自由参加	—
5	電線絵画展	未定	未定	自由参加	—

④ 鑑賞プログラム

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	ショパン — 200年の肖像展関連 トコトコ美術館 テーマ:おんがく	5月30日(土)【A】10:30～12:00 【B】14:00～15:30 5月31日(日)【C】10:30～12:00 【D】14:00～15:30 6月7日(日)【E】10:30～12:30 【F】14:00～16:00	6	3歳～6歳 +保護者 小学1・2年生 +保護者	各回 5組
2	練馬区立美術館35周年記念展 Re construction 再構築 トコトコ美術館 テーマ:未定	未定	4	3歳～6歳 +保護者	各回 5組
3	式場隆三郎展関連 トコトコ美術館 テーマ:未定	未定	4	3歳～6歳 +保護者	各回 5組
4	練馬区立美術館35周年記念展 35年の35点 関連 トコトコ美術館 テーマ:未定	未定	4	3歳～6歳 +保護者	各回 5組
5	練馬区立美術館35周年記念展 35年の35点 関連 あかちゃん鑑賞会	未定	2	0～2歳の赤 ちゃんとその 家族	各回 16人
6	電線絵画展関連 トコトコ美術館 テーマ:未定	未定	4	3歳～6歳 +保護者	各回 5組

⑤ 講演会など

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	「ショパン — 200年の肖像」展 連続講演会 01～ポーランドを知る2日間 「パリのポーランド人たち - ショパンからキスリングまで」① ② 講師: 関口時正(東京外国語大学名誉教授) 「ショパンを育んだ都市ワルシャワの歴史」(前編)(後編) 講師: 白木太一(大正大学教授)	5月16日(土)14:30～15:30 5月23日(土)15:45～16:45 5月16日(土)15:45～16:45 5月23日(土)14:30～15:30	4	中学生以上	70名
2	「ショパン — 200年の肖像」展 連続講演会 02～ショパンを多視点から考える 「ショパンの手稿譜と楽譜出版」 講師: 武田幸子(ショパン研究) 「日本におけるショパン受容と「ショパン弾き」澤田柳吉の音楽活動」 講師: 多田純一(ショパン研究)	6月13日(土)15:15～16:15 6月13日(土)16:30～17:30	2	中学生以上	70名
3	「ショパン — 200年の肖像」展 連続講演会 03～ショパンコンクールを学ぶ 「《独立ポーランドとショパン》～ポーランド楽派とショパン 国際コンクールの黎明期」 講師: 下田幸二(音楽評論家・ピアニスト)	6月20日(土)14:30～16:30	1	中学生以上	70名
4	練馬区立美術館35周年記念展 Re construction 再構築	未定	1	中学生以上	70名
5	式場隆三郎展	未定	1	中学生以上	70名
6	練馬区立美術館開館35周年記念展 35年の35点	未定	1	中学生以上	70名
7	電線絵画展	未定	1	中学生以上	70名

II) ネリビラボ(自分の好きな材料で好きなものを作る実験室)

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	ネリビラボ	未定	2	小中学生	各20名

III) 美術館を知るプログラム(当館のバックヤードや所蔵作品を紹介)

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	美術館をつかまえる!?館内探検とフロッタージュ	未定	4	5歳～ 小学2年生	各回 10名
2	所蔵品カードであそぼう!	未定	2	小学生～ 大人	各回 16名
3	おでかけ美術館	未定	1	4～6年生	10名

学校関連事業

I) スクールプログラム パンフレットを作成し各学校に配布。

① 団体鑑賞	美術館担当者がマナーの説明や展示解説を行い鑑賞のお手伝いをする
② 施設見学	各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設を紹介する
③ 職場体験・訪問	受付や事務、監視、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝える
④ 出張プログラム	担当者が学校へ赴きコレクションや開催中の展覧会に関連した授業のお手伝いをする

II) ティーチャーズディ

当館及び当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中高等学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設ける。

各回ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とする。

令和2年度は5回開催する。

	展覧会名
1	ショパン — 200年の肖像展
2	Re construction 再構築
3	式場隆三郎展
4	35年の35点
5	電線絵画展

2 令和元年度 事業報告(中間)

(1) 展覧会事業

令和元年度 展覧会事業日程および観覧者数

(ア) 企画展等

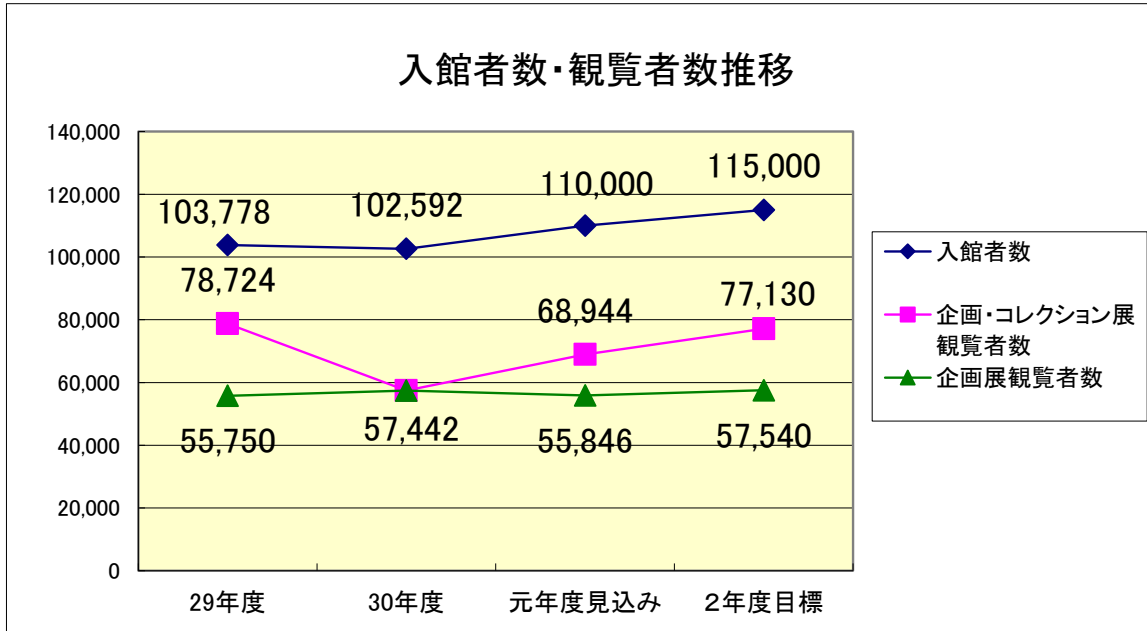
開催期間	展覧会	開催日数	観覧者目標 (1日当り)	観覧者実数 (1日当り)	目標比 (%)
4月28日(日) ～6月9日(日)	くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵展	38	12,540 (330)	4,414 (116)	35.2%
6月14日(金) ～7月4日(木)	ふえるコレクション、かわるコレクション	18	1,800 (100)	2,370 (132)	131.7%
7月14日(日) ～9月16日(月・祝)	没後50年 坂本繁二郎展	56	20,160 (360)	13,426 (240)	66.6%
9月29日(日) ～11月24日(日)	エドワード・ゴッリーの優雅な秘密	47	14,100 (300)	29,006 (617)	205.7%
11月30日(土) ～2月9日(日)	没後10年 品川工展 組み合わせのフォルム	57	7,980 (140)	10,728 (188)	134.4%
2月21日(金) ～4月12日(日)	生誕140年記念 背く画家 津田青楓とあゆむ明治・大正・昭和	45	9,000 (200)	9,000 (200) (見込)	100.0%
	合 計	261	65,580 (251)	68,944 (264) (見込)	105.1%
	前年度	273	67,960 (249)	54,558 (200)	前年度比 126.4%

(イ) 各種展覧会

開催期間	展覧会	開催日数	観覧者実数 (1日当り)	
6月14日(金) ～6月23日(日)	第65回練馬区美術家協会展	9	1,482 (165)	
1月11日(土) ～1月15日(水)	中学校生徒作品展	4	4,140 (1,035)	
1月18日(土) ～1月23日(木)	小学校連合図工展	5	11,199 (2,240)	
1月25日(土) ～1月26日(日)	小中学校連合書きぞめ展	2	10,258 (5,129)	
2月1日(土) ～2月9日(日)	第51回練馬区民美術展	8	2,363 (295)	
	合 計	28	29,442 (1,052)	前年度比 107.4%
	前年度	28	27,424 (979)	

(ウ)入館者数

入館者数比較	30年度	元年度	前年度比
	102,592	110,000 (見込)	107.2%



(2)美術作品の収集事業

美術作品の収蔵状況

(平成31年3月31日現在)

年度	日本画		洋画		版画		工芸		書		彫刻・立体		その他		計		合計
	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	
59	6		9	1			1	2							16	3	19
60	1	1	5	1		1				1					6	4	10
61		7	14	221	14	28							317	28	573	601	
62	3	1	32	16	9	1							1	1	45	19	64
63	2	1	15	1	12										29	2	31
1	2		5	48											7	48	55
2	4	1	19	29	4	1									27	31	58
3	2	1	14	13											16	14	30
4	2	1	12	10	18	9									32	20	52
5	2		1	2											3	2	5
6	1	1	15	7		1					1				17	9	26
7	2	4	4	3		1						1			6	9	15
8	1	2	2	9	5	1									8	12	20
9			12	2	1	46									13	48	61
10	3	4	12	21											15	25	40
11		4	12	5		134									12	143	155
12		8		11											0	19	19
13				13											0	13	13
14		29		13											0	42	42
15		1	6	8	12	77									18	86	104
16		65		6											0	71	71
17		6		20											0	26	26
18		30		121		97								8	0	256	256
19		17		40				5				7		7	0	76	76
20		8		31		21									0	60	60
21		8		44		98						13			0	163	163
22		11		168		9								3		191	191
23		8		13								1		123		145	145
24		32		10		33										75	75
25															0	0	0
26		13	1	422		215						22		2084	1	2756	2757
27		5		97		112		25						18	0	257	257
28		25		22												47	47
29															0	0	0
30		5		11		25								15		56	56
合計	31	299	190	1439	75	910	1	32	0	1	1	44	1	2576	299	5301	5600

平成31年3月31日現在
寄託作品 1,890 点

購入・寄贈・寄託計 7,490点

2(3)平成31年(令和元年)度 広報活動と反響

「くもんの子ども浮世絵コレクション遊べる浮世絵展」

(平成31年4月28日～令和元年6月9日)

<p><新聞></p> <p>📄記事</p> <p>読売新聞 暮らし欄 5月17日朝刊</p>	<p>📄一覧</p> <p>東京新聞 木曜朝刊 ほっとなび情報の道しるべ美術館・博物館 4月25日</p> <p>朝日新聞首都圏版 夕刊マリオン欄 4月23日</p> <p>読売新聞シティライフ 5月14日、21日</p> <p>毎日新聞 夕刊 首都圏版「遊ナビ」5月10日</p> <p>日本経済新聞夕刊・美術館ガイド「マンスリーミュージアムガイド」5月9日</p>
<p><雑誌></p> <p>懸賞なび 4月号</p> <p>Are You Happy? 6月号(4月末発行)</p>	<p><フリーペーパー></p> <p>ぱど 4月号</p> <p>月刊Kacce 4月号</p> <p>ウーマンライフ (4月末発行号)</p> <p>ASACOCO 4月26日発行</p> <p>月刊武州路 4月20日発行</p>
<p><WEB></p> <p>SPICE</p> <p>ShareArt</p> <p>株式会社ジーエービーHP</p> <p>アートアジェンダ</p> <p>個展なび</p> <p>ホルバインアーティストナビ載</p> <p>くもん教育研究会HP</p> <p>ウォーカープラス</p> <p>美術手帳WEB</p> <p>TABミュージーぼん</p>	<p>白泉社『kodomoe』</p> <p>time out Tokyo</p> <p>婦人画報公式サイト</p> <p>美術 ACADEMY&SCHOOL</p> <p>GO TOKYO</p> <p>インターネットミュージアム</p> <p>和楽WEB</p>
<p><その他></p> <p>染色文庫 4月号</p> <p>区報4月1日号、21日号</p> <p>区庁舎内モニター広告</p> <p>貫井図書館だより</p> <p>練馬区公式Facebook5月19日</p>	<p>インターネットラジオ 練馬放送 練馬アート+ミュージアム 5/11、5/12 5/18、5/19、5/25、5/26</p> <p>J:COM デイリーニュース 5/3 18:00、21:00、22:00、23:00</p>

「ふえるコレクション、かわるコレクション」

(令和元年6月14日～令和元年7月4日)

<p><新聞></p> <p>📄記事</p>	<p>📄一覧</p> <p>東京新聞(6月13日朝刊:ほっとなびー情報の道 しるべ)</p>
<p><雑誌></p>	<p><フリーペーパー></p> <p>ねりかる 2019 summer</p>
<p><WEB></p> <p>アートアジェンダ</p> <p>ケイティコム (今見られる全国のおすすめ展覧会 100)</p> <p>インターネットミュージアム</p> <p>インターネットラジオ練馬放送</p> <p>「練馬アートミュージアム」</p> <p>(6月22日、23日)</p>	<p>すぱいす(SPICE)</p> <p>GOTKYO</p> <p>アートアジェンダ</p>
<p><その他></p> <p>練馬区報 6月11日号</p> <p>練馬区庁内モニター広告</p> <p>ねりまホットライン (6月8日～15日)</p> <p>(6月24日～30日)</p> <p>練馬区公式フェイスブック</p> <p>練馬区公式ツイッター</p> <p>J.com「デイリーニュース(練馬・新座・和光)」6月27日放送</p>	



「没後50年 坂本繁二郎展」

(令和元年7月14日～9月16日)

<p><新聞></p> <p>📄記事</p> <p>朝日新聞 5月12日夕刊 美の履歴書(久留米開催中・当館への言及あり)</p> <p>毎日新聞 7月20日夕刊 アートの窓</p> <p>高知新聞 8月6日</p> <p>新潟日報 8月7日</p> <p>東奥日報 8月9日</p> <p>宮崎日日新聞 8月12日</p> <p>河北新報 8月14日</p> <p>下野新聞 8月17日</p> <p>茨城新聞 8月18日</p> <p>熊本新聞 8月19日</p> <p>産経新聞 9月1日朝刊</p> <p>東京新聞 9月13日夕刊</p>	<p>📄一覧</p> <p>東武よみうり 6月17日</p> <p>美じょん新報 6月20日(237号)</p> <p>美術新聞 1148号 7月1日</p> <p>日経新聞 7月4日</p> <p>MAINICHI WEEKLY 7月6日</p> <p>朝日新聞 7月9日</p> <p>毎日新聞 7月12日、19日、26日、8月2日、9日、16日、23日、30日、9月6日、13日</p> <p>定年時代 8月5日</p> <p>読売新聞 8月6日、13日、20日、27日、9月3日、10日</p>
<p><雑誌></p> <p>びいーゆ 7月号</p> <p>エクラ 8月号</p> <p>懸賞ナビ 8月号</p> <p>アートコレクター 8月号</p> <p>旅行読売 8月号</p> <p>月刊美術 8月号</p> <p>月刊ギャラリー 8月号</p> <p>美術の窓 8月号</p> <p>芸術新潮 10月号</p>	<p><フリーペーパー></p> <p>西武鉄道「remo」</p> <p>情報誌 ぽど</p>
<p><WEB></p> <p>朝日新聞 Re ライフ net</p> <p>G-Call</p> <p>Share Art</p> <p>個展ナビ</p> <p>アートアジェンダ</p> <p>ウーマンライフ</p> <p>SPICE</p> <p>OBIKAKE</p> <p>ぐるっとパスブログ</p>	<p>Go Tokyo</p> <p>ホルベインアーティストナビ</p> <p>Seoul Art Guide</p> <p>Web版月刊 ezpress</p> <p>Web版美術手帖(計2回)</p> <p>インターネットミュージアム</p> <p>ぴあポイント</p>



<p><その他></p> <p>区報 7/11 号</p> <p>区庁舎内モニター広告</p> <p>貫井図書館だより</p> <p>貫井図書館パスファインダー</p>	
<p><広告></p> <p>毎日新聞 7月12日朝刊、7月19日夕刊、7月26日夕刊</p> <p>朝日新聞 7月30日夕刊 MUSEUM GUIDE</p>	

「エドワード・ゴリーの優雅な秘密」
(令和元年9月29日～11月24日)

<p><新聞></p> <p> 記事</p>	<p> 一覧</p> <p>東京新聞 9月26日</p> <p>日経新聞 マンスリーミュージアムガイド</p>
<p><雑誌></p> <p>JAPAN PRECIOUS</p> <p>時空旅人 別冊『必ず観たい注目の美術展 2019-2020』</p> <p>月刊美術</p> <p>美術展ぴあ</p> <p>懸賞なび</p> <p>リンネル</p> <p>月刊 MOE</p> <p>ストーリー</p> <p>メンズプレッピー</p> <p>アートコレクターズ</p> <p>anan</p>	<p><会員誌、フリーペーパー等></p> <p>ねりまファミリーパック</p> <p>ぱる新宿ニュース</p> <p>情報誌 ぱど</p> <p>viva! Amigo</p> <p>リビング新聞</p> <p>あらぶんちよ通信(CABLE GUIDE)</p> <p>カンフェティ</p>

<p><WEB></p> <p>ShareArt 美術館情報 OBIKAKE びびなび G-CALL FASHION PRESS アートアジェンダ SPICE 月刊 MOE レッツエンジョイ東京 JR 東海ツアーズ 東京ガイドマップ 個展なび Harumari TOKYO ウーマンライフ SPUR. JP</p>	<p>ウォーカープラス 東京の観光サイトGoTokyo ウェブ版美術手帖 キャリアマムホームページ 大人のカルチャーガイド展覧会情報 ぴあアプリ ミューぼん グリーンタイムズ@Web コンフォルトウェブマガジン</p>
<p><その他></p> <p>区報 9/21 号 区庁舎内モニター広告 貫井図書館だより 貫井図書館パスファインダー</p>	<p>J-WAVE(ラジオ) 「Good Neighbors」</p>

「没後 10 年 品川工展 組み合わせのフォルム」11 月～2 月掲載分
(令和元年 11 月 30 日～令和 2 年 2 月 9 日)

<p><新聞></p> <p>記事</p> <p>東京新聞(1月 18 日 朝刊) 「組み合わせの妙 抽象的な版画やオブジェ これは何の形？」 ジャパントイズ(11 月 27 日)</p>	<p>一覧</p> <p>朝日新聞(11 月 26 日夕刊) 東京新聞(11 月 28 日朝刊) 毎日新聞(11 月 29 日朝刊) 日本経済新聞(12 月 13 日夕刊) 朝日新聞(12 月 20 日夕刊) 毎日新聞(12 月 6 日・13 日・20 日朝刊) 日本経済新聞(1 月 9 日夕刊) マンスリーミュージアムガイド 読売新聞(1 月 14 日・21 日・28 日) シティーライフ 毎日新聞(1 月 10 日・17 日・24 日・31 日 朝刊)</p>
---	---

<p><雑誌></p> <p>「装苑」(11月28日発行) 「月刊美術12月号」(11月20日発行) 「美術の窓12月号」(11月20日発行) 美術の窓(生活の友社)12月20日号 芸術新潮12月25日号</p>	<p><会員誌、フリーペーパー等></p> <p>新美術新聞(11月21日号) かわら版(2019 冬号)</p>
<p><WEB></p> <p>大人のカルチャーガイド ウェブ版「美術手帖」 社会評論社 特設サイト 目録準備室 ときの忘れ物 OBIKAKE</p>	<p>アートアジェンダ ShareArt インターネットミュージアム ART 公募 個展なび WEB サイト MIRAI</p>
<p><その他></p> <p>練馬区モニター広告 区公式フェイスブック「多文化ねりま～文化交流ひろばから」 ねりま情報(区政情報) ねりま区報(11月11日号) ねりまホットライン(11月後半号) 練馬区ホームページ(11月25日) 貫井図書館だより</p>	<p>J.com「デイリーニュース(練馬・新座・和光)」12月4日取材(12月6日放映) 貫井図書館パスファインダー 練馬区モニター広告行政情報コンテンツ(2月分)</p>